

## 本時のねらい

ロイロノート・スクールを使用して、小数点のある筆算のかけ算の小数点の移動の定着をはかる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・筆算のかけ算において、答えをどのマスに書いたらいいかわからない児童が多かった。そのために児童が視覚的にわかりやすいように位ごとに色を分けて筆算の定着を図った。
- ・ヒントカードを使用して、個に応じた学びを進められるようにした。
- ・ロイロノート・スクールを使って小数点を移動させられるようにして、感覚的・視覚的に小数点の移動がわかるようにした。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・学習支援アプリ（ロイロノート・スクール）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○筆算のかけ算の復習をする。 【写真1】 ○電子黒板を使用して全体発表を行う。	○ロイロノート・スクールで一の位、十の位を色でわけて、かけ算の筆算の方法を思い出しやすくする。 ○筆算のやり方のヒントカードをロイロノート・スクールで用意しておく、自分で選んで活用できるようにする。 ○タブレットPC (iPad) の画面を電子黒板に投影し、説明させる。
展開 (35分)	○整数×整数と違い、小数点がある場合はどう計算すればよいかについて、(小数点の位置について)考える。 ○ノートに書いた筆算をお互いに見せ合い、考え方を交流する。 ○電子黒板を使用して全体発表を行う。【写真2】	○ロイロノート・スクール上で小数点を動かすことができるようにしている。 ○児童のタブレットを電子黒板に映して、児童の画面を使って、説明させるようにする。
まとめ (5分)	○小数のかけ算の方法をノートにまとめる。 ○ふりかえりをロイロノート・スクールで行う。【写真3】	○学んだことを言葉で残せるように、自由記述欄も用意する

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】色で分けた位を意識して筆算のやり方を復習している様子



【写真2】筆算を行う際に、なぜ小数点を動かすのか、何マス動かすのか、自分の考えを発表している様子



【写真3】ふりかえりを書いている様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・位の色を分けることによって、児童が計算の順序や位取りの見通しを立てることができた。また、筆算の仕方をヒントカードとして用意しておくことで、児童が自らの習熟度にあった学びを選択していた。次にどこをかけたらいのか、次にどこに書くのかなどの理解が進んだ。小数点の移動についても、指で動かすことで感覚をつかめ、次の時間では、小数点の位置を間違える児童が減少した。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・位の色を分けることによって、筆算が苦手な児童も次どこに書くのかわかるため、意欲的に取り組んでいた。小数点の移動については視覚的に何マス(位)を戻すのかわかりやすく示すことができ、児童に定着してきたと感じる。
- ・複数のヒントカードを用意することで、自分の習熟度にあったカードを児童が選択することで、個に応じた学習を進めていくことができるようになる。